



## 課題に対して、受け身ではなく主体的に向き合って

山形県中学校長会

会長 小 関 広 明 (山形市立第二中学校)

4月25日の第1回理事会におきまして、今年度の会長としてご指名いただきました。次世代の中学校教育の礎を築くという重責に、身が引き締まる思いです。中学校教育の充実・発展のために努めてまいりますので、皆様からのご指導とご協力をお願い申し上げます。

### 今年度の運営にあたって

今年度、県中学校長会の運営にあたっては、全日本中学校長会新教育ビジョン「学校からの教育改革」(令和2年5月策定)や本県の状況、さらに県中学校長会「活動方針」に基づき、特に「学校経営」と「中学校教育の課題」という2つの側面から重点的に取り組んで参ります。

### 1 校長の経営力の向上

- (1) 新たな時代を生き抜く力を育むための授業改善を中核とした学校経営の実践
  - ① ICTを活用した効果的な学習の在り方の探究及び指導力の育成
  - ② 授業力向上のための、各教員の経験や特性に応じた校内外の研修の充実
- (2) Society5.0の社会を見据えた新たな教育活動の在り方を模索
  - ① 新たな社会を見据えた持続可能な教育活動の在り方について実践と検証
  - ② 特色ある取組等の校長間の情報交換
- (3) 学校における「働き方改革」の推進
  - ① 教職員がいきいきと働くことができる環境づくりのためのマネジメント
  - ② 授業づくりをはじめ、教員が本来の業務に専念するための時間の確保
  - ③ 教職員の心身の健康のため、半期における時間外在校等時間の月平均80時間超の教員をゼロに
  - ④ 学校運営協議会や地域学校協働活動等との連携の強化

### 2 中学校教育の課題の究明と解決に向けた意見交換

- (1) 部活動改革に係る課題解決に向けた取組
  - ① 「地域クラブ等への移行」に向けての実践研究と情報交換
  - ② 部活動改革の様々な諸課題について、関係機関等との情報交換及び意見の具申
- (2) 生徒指導上の課題に向けた取組の強化
  - ① 不登校生徒の増加防止策や関係機関との連携に係る情報交換
  - ② 「生徒指導提要」を踏まえた現代における生徒指導上の課題の把握と共有
  - ③ 連合小学校長会及びPTA等との情報交換の充実並びに連携の強化
- (3) 新たな高等学校入試選抜に係る課題の把握と意見の具申
- (4) 信頼される教職員としての綱紀保持と不祥事防止

### おわりに

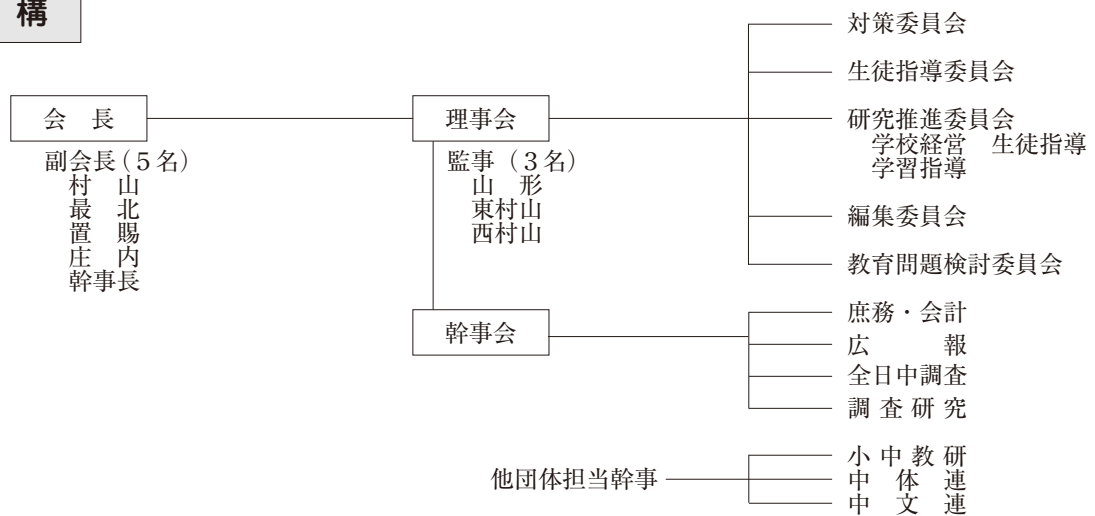
3年余り続いたコロナ禍は落ち着いてきたとはいうものの、熱中症予防に伴う教育課程の変更、不登校生徒の増加、教育DX、部活動の地域移行、働き方改革…教育現場には課題が山積しています。現在の学習指導要領の基礎となった平成27年8月に中教審の教育課程企画特別部会から出された「論点整理」には次のように記されています。「予測できない未来に対応するためには、社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくことが重要である。」

我々県中学校長会も、山積する課題に対し、受け身ではなく主体的・自律的に向き合い、知恵を出し合いながら、これからの本県中学校教育の在り方を考えていきたいと思います。

# 令和6年度 山形県中学校長会組織機構図

令和六年度役員	会 長	小関 広明	会計監事	高橋 修	鎌田さとみ	
	副会長	石原 敏行	近内 孝哉	横井 真人		
	理 事	今崎 浩規	阿部 周	幹事長	細谷 直樹	
		細谷 直樹		幹 事	前田 洋光	栗田 和真
		丹羽 英樹	石原 敏行		沢口 肇	長沼 政直
		中田 敦	茂木 隆		高橋 郁子	森本 真紀
		奥山 竜一	近内 孝哉	事務局長	伊藤 陽子	
		今崎 浩規	大友 信昭			
		船山 恒	加藤 弘人			
		阿部 周				

## 組 織 機 構



## 職務・役割分担等

	職務内容	構成	担当幹事	
理事会	理 事 会	重要事項の審議 会務の執行	各地区会長 11名 会長・幹事 7名	細谷 幹事長
	会 計 監 査	諸会計の監査	山形、東村山 西村山から各1名	前田 幹事
	生 徒 指 導 委 員 会	生徒指導に関する情報交換、検討、提言 小中生徒指導委員会の委員	委員長(県中副会長) 各地区1名	沢口 幹事
	研 究 推 進 委 員 会	研究計画の作成、担当地区との連絡・調整 大会要項編集、県中研究協議会分科会の運営	委員長(県中副会長) 各地区1名	長沼 幹事
	編 集 委 員 会	生徒の学習に資する資料の編集 (中学生生活と進路の編集)	各地区1名	森本 幹事
	対 策 委 員 会	教育行財政に関する問題の検討と対策 小中対策委員会の委員	各地区1名	高橋 幹事 前田 幹事
	教 育 問 題 検 討 特 別 委 員 会	教育問題一般についての検討 緊急問題についての検討	各地区1名(理事) 会長・幹事 7名	細谷 幹事長
幹事会	庶 務 ・ 幹 事	庶務、会計担当		前田 幹事
	広 報	校長会誌編集 県中広報誌担当 全中機関紙編集協力員		森本 幹事
	全 日 中 調 査	中学校教育に関する調査 人事院勧告概要調査 文教関係立法・予算措置等要望調査		高橋 幹事
	調 査 研 究	教育課程編成・実施に関する調査		長沼 幹事

## 令和6年度 活動方針・事業計画

### 【基本的な考え方】

現在我が国は、急激な社会の変化や新型コロナウイルス感染症の影響などにより、デジタル化社会への急激な進展など日々の生活基盤が大きく変容し、物質的な豊かさの一方で人間関係の希薄化や雇用の不安定化など日常生活において心の豊かさを実感できにくい状況がある。また、国際情勢の不安定化や地球規模の気候変動による影響など先の予測が困難な時代の中にある。

教育界においては、いじめの重大事態の発生や不登校児童生徒数の増加などが引き続き重要な課題となっている。また、学力の向上はもとより、家庭や地域社会との連携の強化、生徒の学習や生活の基盤づくり、道徳教育及び特別支援教育の一層の充実、すべての活動の源である健やかな心身の育成が中学校教育に求められる。

本県においては、本年度が「第6次山形県教育振興計画(後期計画)」の終期となり、趣旨にそって一層の具現化を図ることが求められている。なかでも、授業力の向上並びに教育山形「さんさん」プランについては、成果と課題の検証を確実に進める必要がある。

こうした中で県中学校長会は、創立以来77年の積み重ねを基に、教育における不易を大切にするとともに、新たな時代に対応した山形らしい確かな教育のあり方を求めて実践と改革を進め、着実に成果を上げてきた。私たちは、これからも新たな教育課題に対して果敢に挑戦し、校長相互の資質向上を図り、学校経営のさらなる充実と学校からの教育改革を進め、信頼される教育現場をつくらなければならない。

私たちの目指す教育は、自分の地域を大切にしながら、志高く国際的な視野をもってたくましく未来社会を創り出していく生徒の育成である。この使命と義務を果たすべく、めざす生徒像として、

- ・自他の「いのち」を尊重する生徒
- ・主体的に学び、確かな力を身につけて自己を確立する生徒
- ・他とかわりをもって共生できる心豊かな生徒
- ・社会への幅広い関心をもち、創造力に富んだ生徒

を掲げ、全日中の研究主題である「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」及びそれを柱とした全日中新教育ビジョン「学校からの教育改革」を踏まえ、次の運営方針と活動の重点のもとに活動するものである。

### 1 運営方針

- (1) 校長の経営力の向上を図るとともに、中学校教育の課題を究明し、十分な意見交換のもと解決に努める。
- (2) 組織・運営等のあり方を継続的に見直し、活動の活性化と効率化を図り、目的達成に努める。
- (3) 小学校・高等学校・特別支援学校及び関係諸機関との連携を密にし、情報交換に努めるとともに必要に応じて積極的な発信を行う。

それぞれの学校の実態に合わせて、東日本大震災及び甚大な自然災害の復興に関わる支援を継続するとともに、Society5.0の社会を見据えた新たな教育活動の在り方を模索する。

### 2 活動の重点

「いのちの教育」を基底に据え、社会を生きぬく力の一層の育成を図るという視点から、次の5項目を活動の重点とする。

- (1) 地域や家庭から信頼される特色ある学校づくりに努める。
  - ア 自主・自律の精神に基づいた創意ある学校の経営
  - イ 家庭・地域と一体となった開かれた学校づくりの推進
  - ウ 生徒の安心・安全を確保できる学校づくりの推進
- (2) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成・実

施に努める。

ア 社会に開かれた特色ある教育課程の編成・実施  
イ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得並びにそれらを活用する能力及び主体的・協働的に学習する態度を育てる指導・評価の工夫・改善

ウ 組織的・計画的なカリキュラムマネジメントへの取組

エ 豊かな心と健やかな身体を育てる道徳教育・健康教育の充実

○特別の教科道徳と各教科等の関連を図る全体計画の作成・活用

○他と協調して生きる社会性、規範意識を育む教育の充実

○心身の健康及び個性・感性を育てるバランスの取れた文化・スポーツ活動の推進

○ガイドラインに則した部活動の推進

- (3) 教育公務員としての意識の高揚と教育力の向上を図るとともに研究活動の充実に努める。

ア 使命感、倫理観、指導力を高める研修の推進

イ 生徒・保護者・地域に信頼される、教職員の綱紀保持・服務規律の徹底、体罰・暴言の絶無及び不祥事の防止

ウ 中学校教育の改善に資する調査研究の充実

エ 共通課題の継続研究と地域課題についての実践的な研究の推進

- (4) 教育諸条件の整備及び教職員の処遇改善のための対策活動に努める。

ア 教職員定数改善及び教育山形「さんさん」プランの一層の充実と成果の検証

イ 教職員の資質向上を図るための施策の充実

ウ 人材確保に関する特別措置法の趣旨を生かした教職員の処遇の維持向上

エ 学校配当旅費の確保及び教材費の増額

オ 学校施設及び設備の整備・充実

カ 文化・スポーツ活動及び諸活動のための経費の増額

キ へき地・小規模校教育の振興充実

ク 特別支援教育の振興充実

ケ 自主・自律を進める学校づくりのための学校裁量予算の措置及び増額

- (5) 学校における働き方改革を推進する。

ア 業務改善に向けた継続的な取組

イ 管理職のマネジメント力の向上

ウ 地域と連携した部活動改革

### 事業計画

各委員会等の分掌業務と併せて、本年度は次のような事業を計画・推進する。

- 1 第78回山形県中学校長会研究協議会並びに令和7年度に開催される第75東北地区中学校長会山形大会の成功を期して、会員総力を挙げて取り組む。
- 2 当面する教育課題の解決に向けて、会員の意見を集約し、積極的に発信する。
- 3 生徒指導上の複雑化する課題や問題行動の情報の共有及び、他機関との連携強化を図る。また、生徒指導の充実と迅速な対応を図るため、「生徒指導四者連絡協議会」を県中学校長会及び各地区校長会で開催する。
- 4 教職員の資質向上について一層の実践を推進するとともに、教職員評価や学校における働き方改革についてもその諸課題について広く議論を進める。
- 5 中学校教育及び中学校長会の組織等に関する課題や緊急性の高い問題について検討するため、必要に応じて「教育問題検討特別委員会」を開催し、問題の究明と解決策を探る。

今年度の各委員会活動方針や事業計画の概要をお知らせします。

#### 〈研究推進〉

- 全日中の研究テーマ「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」に基づいて、「学校経営」「生徒指導」「学習指導」の3つの分科会で研究を推進していく。  
令和6年度の担当地区は  
学校経営……Bブロック（最上地区） 生徒指導……Cブロック（山形地区）  
学習指導……Dブロック（西置賜地区）
- 令和6年度 第78回県中校長会研究協議会は、ヒルズサンピア山形で6月21日に開催する。  
一日開催とし、「全体会」・「分科会（研究発表、グループ協議・情報交換会）」という内容で行う。
- 6月中、令和6年度教育課程編成に関する調査を開始する。
- 第2回研究推進委員会（10月24日）において、研究協議会と調査について検討する。
- 会誌第55号に、研究協議会と調査のまとめを掲載する。研究協議会のまとめについては、グループ協議で話し合われた内容について掲載する。
- 令和7年度は、東北、全国での発表を西村山地区が行う。会誌55号の「研究・実践の歩み」は「学校経営」を田川地区、「生徒指導」を米沢地区、「学習指導」を西村山地区が担当する。

#### 〈編集〉

- 「中学生生活と進路」の母体となる全国版を基に、県版の資料や情報の検討、修正等を行う。
- 進路指導主事を対象に「中学生生活と進路」の活用状況や内容に関するアンケートを実施する。
- 全体会及び小委員会を開催し、分析しながら集約作業と統計資料の編集作業を行う。

#### 〈生徒指導〉

- 7月9日に県警察本部、県中央児童相談所、県教育局義務教育課との生徒指導四者連絡協議会を開催する。平成28年度から焦点化したテーマを定めて生徒指導委員会委員が参加し、運営している。
- 8月5日に、「SNSに関わる問題の実態と取組み」「いじめの防止とその対応等」について、協議・報告、及び情報交換を行う。
- 1月30日に、「不登校生徒の実態と取組み（別室登校生への対応も含む）」について協議・報告、及び情報交換を行う。

#### 〈対策（小中共通）〉

- 県連小、県中の活動方針に基づき、全連小・全中、東北連小・東北中との連携を密にし、国の動向や学習指導要領、第6次山形県教育振興計画（後期計画）等の趣旨を踏まえ、教科指導や学級経営及び生徒指導並びに特別支援教育の充実やへき地・小規模校教育の充実を図るため、教育諸条件の整備推進に向けた対策活動を展開する。特に、令和の日本型教育の構築に係る「GIGA スクール構想」等、国の教育改革の推移を見守り、本県としての課題を明確にするとともに、山形県公立学校における働き方改革プラン（第Ⅱ期）の内容を踏まえながら、具体的な対策を立て、組織的・継続的な活動を推進する。さらには、大規模災害等を想定した安心・安全な施設・設備の一層の充実を図るための活動とともに、東日本大震災に関わる継続的な支援を引き続き推進する。

## 東北地区中学校長会研究協議会 岩手大会

今年度の東北地区中学校長会研究協議会は、10月17日（木）～18日（金）に全日本中学校長会研究協議会と合わせて、岩手県で開催となります。